



1_工事の安全を祈願し、鍬入れをする高橋町長 2_ (仮称) 歴史観光交流センターの完成イメージ図

(仮称)歴史観光交流センター 工事安全祈願祭を実施

工事施工者である国分木材工業株式会社主催による(仮称)歴史観光交流センターの工事安全祈願祭が5月18日、旧伊達郡役所隣の建設地で行われました。

式典には、高橋町長、原賢志議長、佐藤浩哉教育長をはじめ町関係者、設計・監理を担う福島県建築設計協同組合およびAUM株式会社など

約30人が出席しました。

儀式により工事の安全を祈願した後、高橋町長が「町の南の玄関口として来訪者をお迎えする、歴史文化エリアの拠点施設にしたい」とあいさつしました。

今後は、来年2月の建物完成、同年4月の開館に向け、安全第一で本格的に工事を進めていきます。

税の大切さを実感 小学校租税教室

税金の大切さについて学ぶ租税教室が6月4日、半田醸芳小学校で行われました。町税務住民課職員が講師を務め、アニメやクイズなどを通して、6年生21人に税金の重要性を説明しました。職員が「児童1人当たり

年間約94万円の税金が使われていきます」と紹介すると、児童らは「こんなに多くの税金が使われているとは知らなかった」と驚き、「みんなが安心して暮らすために、納税は大切だと思った」などと感想を発表しました。



▶約10kgある1億円のレプリカの重さを体感する児童



▶カフェで認知症について話し合う参加者たち

認知症について学ぶ オレンジカフェもんも(町委託事業)

認知症について理解を深める「オレンジカフェもんも」が4月8日、伊達崎公民館で行われ、17人が参加しました。当日は、生活支援コーディネーターの持地純子さんから、地域づくりや支え合いについて、多様な視点や切り口で

わかりやすい講話があり、参加者からは「地域での支え合いは必要だよね」などの感想が聞かれました。
▼オレンジカフェに興味のある人は桑折町地域包括支援センター(☎582-1188)までお問い合わせを。